

対象として保育所の幼児満2才前後の者を之に当て一組は秋から冬にかけての向寒期と一組は春から夏にかけて服装の軽快に成って行く季節との二通りに分けて試みた。保育所に於ける集团的躰と別に家庭での個人的躰も行った。実験の結果しつけの時期としては春から夏にかけての向暖期には非常に順調に進む様で僅か3ヶ月位でおむつを卒業する者もあること、個人的躰より集团的躰の方が早く進行すること。便器の構造・材料・デザイン等の影響も無視出来ないこと。躰をする人が同一人で根気よく時間的に、同じ場所で、それに当ることが成功の鍵を握っていると云うこと等が認められる。

A-26* トイレット・トレーニングに関する研究（第2報）

大分大学 溝口 ミツ

昭和28年トイレット・トレーニングの基礎的調査研究を行い日本医学小児学会九州地方会に発表した。次で昭和31年から次の段階としてトレーニングの方法について実験的研究を試みたのでその結果を発表する。先づ